

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより

No 171

太子のまち

題字「大鷹 想雲」



新しい議会組織決まる

P2

特集 町議会のいちねん P6~7

7人の一般質問 P8~11

Boys&Girls Taishiをいだけ! P16



できたよ!
野菜でお供え
づくり(七夕会)
太田幼稚園

太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん



中島貞次 監査委員



中井政喜 副議長



橋本恭子 議長

5月
臨時会
5月9日

議会組織決まる

総務常任委員会



井川芳昭 藤澤元之介 堀 卓史
服部千秋 委員長 平田孝義 副委員長 清原良典

議会運営委員会



中井政喜 清原良典 堀 卓史
井村淳子 委員長 佐野芳彦 副委員長 森田眞一

経済建設常任委員会



井川芳昭 吉田日出夫 中島貞次
佐野芳彦 委員長 中藪清志 副委員長 藤澤元之介

福祉文教常任委員会



中井政喜 吉田日出夫 森田眞一
福井輝昭 委員長 首藤佳隆 副委員長 井村淳子

広報広聴常任委員会



首藤佳隆 平田孝義
服部千秋 委員長 福井輝昭 副委員長 中藪清志

首藤 佳隆

☆民主化推進協議会理事

森田 眞一

☆社会福祉協議会評議員

服部 千秋
福井 輝昭

☆国民健康保険運営協議会委員

井村 淳子

☆民生委員推薦会委員

藤澤 元之介

☆都市計画審議会委員

5月臨時会

1年間の報告

住民の参画と協働・情報公開の具体的あり方について

総務常任委員会

閉会中の所管事務調査報告を5月9日の臨時会で行った。

調査年月日は平成25年5月16日から平成26年3月12日の計10回。

経過及び意見

住民の参画と協働・情報公開の具体的あり方が自治基本条例の制定によりどのように変わったかを調査するため、相生市、宍粟市、箕面市の自治基本条例を全委員が調査し、意見を出し合った。

平成26年1月には自治基本条例を制定後すでに2回の見直しを行っている先進地である伊丹市を委員会として視察し調査を行った。これまでの基本条例を調査して相生市、宍粟市、箕面市に共通する点は

- ① 市の組織として推進する部署を設けている。
- ② 常日頃から市民を市の施策に参加させ、市民の参画と協働によるまちづくりを推進している。
- ③ 推進状況について、定期的に再検討・見直しの規定を設けている。
- ④ 市民会議の議論は行政が誘導せず、市民の意見を尊重している。
- ⑤ 公募型協働事業提案制度を創設し、市民主体とな

ったまちづくりの実現に取り組んでいる。

- ⑥ 市民に情報を提供するための具体的施策（ハード面）市民まちづくりプラザ、(ソフト面) NPO法人/ボランティア団体・自治会・社会福祉協議会などへの活動支援と連携。
- ⑦ 市民意見表明制度

- 一つのテーマについて一回で終わらせず、フイードバックさせるシステムを設ける。
- ⑧ 『熟議』

異なる立場・考え方をお互いに理解しながら、対話を重ね、情報の共有と学習の機会が必要であるという姿勢で取り組んでいる。

新年度の総務委員会は

ホームページおよび自治基本条例が住民の参画と協働・情報公開にどのように役割を果たすか、引き続き調査することを希望した。

子ども・子育て支援事業計画について

福祉文教常任委員会

「子ども・子育て支援法」等の子ども・子育て関連3法に基づく事業内容並びに当町の子ども・子育て支援関連事業の現状に照らし、次のような提言を行った。

幼児期の学校教育・保育の総合的な提供について

○保育所の入園

現状

町内の保育所に入園を希望しながら、やむなく町外や自宅から距離のある保育所に通園するもの、あるいは保護者の就労形態の関係で入園をあきらめているのが現状である。

提言

子ども・子育て支援を推進するため新たな部署の設置について検討を行うこと。

提言

早期に実態を調査し、保育を必要とする者全員が希望する保育所に入園できるように受け入れ体制の整備を図る。また、幼

地域の子ども・子育て支援の充実について

○学童保育園

現状

親の就労形態の多様化や子どもを取り巻く環境の変化により、受け入れ年齢の拡大が求められている。

提言

子どもの安全・安心な放課後生活を考慮して、受け入れを小学6年生まで拡大すること。

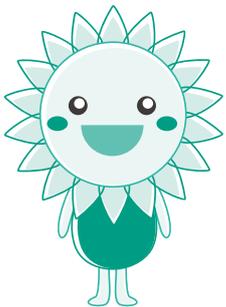
○ファミリー・サポート

現状

現在の保育所や幼稚園の一時預かり事業だけでは保護者のニーズに答えられていないところがある。

提言

ファミリー・サポートセンター事業を幼稚園・保育所の一時預かり事業の補完的機能を持った制度として確立させること。



○時間外保育

現状

多様な就労形態により子どもを迎えに行くのに、現行の保育の終了時間の延長が18時では厳しいものがある。

提言

保育の終了時間を延長することで安心して保育所を利用することができる、時間外保育の終了時間を19時まで延長すること。

その他

○通院医療費

現状

経済的負担を気遣うことなく安心して医者に掛かれるよう義務教育期間の通

提言

院医療費の無料化は、子育て支援として多くの親が願うところである。
中学3年生までの通院医療費の無料化をすること。

○公園整備

現状

当町の都市公園は8カ所あるものの、その多くは子ども人口の多い地域から遠くであり、子どもだけの利用は難しい状況にある。

提言

子どもたちが徒歩で行ける身近な地域に、安全にボール遊びをしたり、親が安心して見守ることのできる中規模程度の公園を整備すること。

内容

水稻を作ることができない休耕田の活用方法として、農業者戸別所得補償制度の対象となる作物の調査、農地バンクへの登録推進と情報提供、営農組合設立の推進を行っている。当局から説明を受けた。その後、各委員が調査した結果、農家の多くが40アール以下の小規模な兼業農家であり、農業従事者は少子高齢化のため減少の一途をたどっている、実際に作付けしたが小規模では農機具代等の経費を考えると人件費まで捻出できない、農業塾や農地バンク制度を活用し新規農業従事者の就農を奨励しているが更なる周知が必要であることなどが分かった。

結論

交通の便を活かし、町内外から就農者を開拓できるよう空き家とセツトで農地を貸し出し、農業教室等を地域住民と行う等、新しいコミュニティ作りが必要である。
農地の集約や圃場整備

内容

による大規模経営を行える環境整備が必要である。現状の取り組みを行いつつ、補助制度の調査研究を就農者の意見も交え検討する必要があるとまとめた。

○水道事業の健全化

目的

水の安全性、施設等の維持管理費、水道料金のあり方の現状把握と問題点を調査した。

内容

県の施設である神谷ダム、船津浄水場や太子町内の施設の更新状況等の視察を行った。太子町では地下水くみ上げと県水購入の2つの方式があり、単価の安い地下水をくみ上げているので現状の料金を維持していると説明があった。

結論

安全・安心な水を提供するために施設や管路の更新は必要だが、将来を見据え経費削減に努め、広域化、資産運用の研究、公営企業会計に

精通した人材育成に力を入れ、水道料金を安易に値上げしない努力が必要であるとまとめた。

○太子前処理場の将来像

目的

一般会計からの繰入金に依存している前処理場のあり方を考える。

内容

老朽施設に創意工夫をして維持管理費の削減に努めていることは視察等で分かるがまだまだ効果は薄い。経費削減策として過去様々な方法を研究したが結果に結びついていない中、現在研究している生汚泥搬送計画が可能となれば、10億円を超える施設更新費用と、年間1,000万円の経費が不要となる見込みであると説明を受けたので、県や近隣市町との協議の状況確認を随時行った。

結論

維持管理費の削減に一層の努力が必要である。また、次年度

請願1件を採択、意見書案1件を可決

請願第6号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める請願	全員賛成
意見書案第1号	持続的成長につながる安心して働くことのできる労働法制の整備を求める意見書	全員賛成

も継続して状況を確認する必要があるとまとめた。

6月
定例会

議案等すべて可決

6月定例会は、6月3日から6月16日までの会期で、平成26年度兵庫県太子町一般会計補正予算案など議案3件、諮問1件、請願1件、意見書案1件が提案され、原案どおり全て可決した。

すべての議案を原案どおり可決

平成26年度補正予算	平成26年度兵庫県太子町一般会計補正予算(第2号)	全員賛成
条 例	太子町税条例等の一部を改正する条例の制定	賛成多数
	太子町固定資産税の不均一課税に関する条例を廃止する条例の制定	全員賛成
諮 問	人権擁護委員の推せんにつき意見を求めること	全員賛成 推薦決定
請 願	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担金制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請	全員賛成
意見書案	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担金制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書の提出	全員賛成

議案に対する
主な質疑と答弁

補正予算に対する
質疑応答

問 製造から10年を超える消火器については、耐久性点検が義務付けられたが、購入した方が安価であるため223本を買い換えるとのことだが、点検料はいくらか。

答 点検料は1本1万2千円程度、購入した場合の価格は消費税抜きで1本4千円程度となる。

問 母子家庭等医療費扶助費約500万円の減額及び乳幼児医療費の増額について説明を求める。

答 所得制限基準を超える受給者約400名分を減額するうち、0歳から小学3年生については乳幼児医療費助成対象に、小学4年生から中学3年生については子ども医療費助成対象に移行するた

太子町税条例等の一部
改正に対する質疑応答

問 軽自動車税の税率引き上げによる増収見込額は、

軽自動車税の税額一覧表(抜粋)

◎税額の変更は平成28年度からとなります。

車 種	現行税率 ^{*1}	新税率 ^{*2}
軽自動車	自家用乗用自動車	7,200円 → 10,800円
	自家用貨物自動車	4,000円 → 5,000円

※1 現行税率は、平成27年3月31日までに新規新車登録した車両で、13年が経過するまで適用されます。

※2 新税率は、平成27年4月1日以降に新規新車登録した車両で、13年が経過するまで適用されます。

車 種	現行税率	新税率
原動機付自転車及び二輪車	50cc以下	1,000円 → 2,000円
	90cc以下	1,200円 → 2,000円
	125cc以下	1,600円 → 2,400円
二輪車	250cc以下	2,400円 → 3,600円
	250ccを超えるもの	4,000円 → 6,000円
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600円 → 2,400円

答 年間370万円程度の増収が見込まれる。

軽自動車税

現 行

一例

7,200円

同じ車種の新車を
平成27年4月1日以降
新規取得すると…

10,800円

◎納付は平成28年度から

☆重課税率は、平成28年度以降に新規新車登録から13年を経過した車両に対して適用されます。
平成14年12月31日以前に新規新車登録した車両より、平成28年度から重課税率の対象となります。
【自家用乗用自動車12,900円・自家用貨物自動車6,000円】
※重課税率…新規新車登録から一定年数を経過した環境負荷の大きい自動車に課す税率。

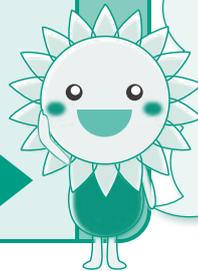
議会 私たちの

町議会のいちねん

「町議会って何?」「何をしたら?」「何という声をよく耳にします。議会も、議会や議員の仕事をもっと皆さんに知って欲しいと思います。そこで…」

町議会の仕事は、本会議が開催されているときだけと思われがちですが、実は1年を通して様々な活動を行っています。大きく分けると条例で定められた年4回の定例会のほか、専門分野ごとに分かれ、調査研究をする各常任委員会があります。

定例町議会や委員会は誰でも傍聴できるよ! 一度、自分の目でチェックしてみよう。



8	7	6	5	月
		6月定例会 (6月3日~6月16日)	臨時会 (5月9日)	議会の開催
		●各常任委員会調査開始 議会の閉会中も各常任委員会で所管について調査研究を行います。	●常任委員会の委員の選任	委員会の活動・その他の主な行事
	議会だより「和のまち」発行			

明るく住みよいまちをつくるためには、全町民が参加して話し合いをすることが理想ですが、一堂に会することはなかなか困難なため、町民の代表者を選び、その代表者に町政運営を委ねています。これが代表民主制と言われるものです。この代表者が町議会議員と町長です。

町議会議員は町議会を構成し、町長、議員それぞれの立場から提案された条例や予算等について話し合い、町の意味を決定します。町長は、その決定された内容に沿って町政を進める立場にあります。

一般的に議会は「議決機関」、町長は「執行機関」と呼ばれ、それぞれが独自の権限をもち、お互いが対等の立場で協力しながら「和のまち太子」の実現をめざし、町民生活の向上に努めています。

【常任委員会】
本会議から付託された条例や当初予算などの議案や請願、また陳情などを審査します。太子町議会では、4常任委員会を設置し、閉会中も毎月1回定例で各委員会の所管事項を調査しています。

議会の仕組み

4	3	2	1	12	11	10	9
	<p>3月定例会 (会期は、約30日間)</p>	 <p>25年度 太子町</p>	<p>12月定例会 (会期は、約15日間)</p>	 <p>25年度 上郡町</p>			<p>9月定例会 (会期は、約30日間)</p>
<p>●平成27年統一地方選挙</p> <p>議会だより「和のまち」発行</p>	<p>●予算委員会設置</p> <p>翌年度の予算を審査します。 町がどのような事業を行うのか方向性がわかります。</p>	<p>●「和のまち」議会だよりを考える田卓会議</p> <p>(本年度の開催については調整中です。)</p> <p>「議会だより」をより読みやすく興味を持ってもらえるように改善するため、直接住民の方の意見を伺うことを目的に開催しました。</p>	<p>●西播磨3町議会合同議員研修会</p> <p>(本年度の日程は調整中です。)</p> <p>佐用町・上郡町・太子町の3町の議会議員が集まります。 議会だより「和のまち」発行</p>	<p>●兵庫県下12町の議会議員が集まる</p> <p>兵庫県下の議会広報発行町の広報委員が集まり「議会だより」の編集技術等についてコンサルタントを受けます。</p>	<p>●兵庫県下12町の議会議員が集まる</p> <p>本年度の開催場所は新温泉町です。兵庫県下12町の議会議員が集まります。 議会だより「和のまち」発行</p>		<p>●決算委員会設置</p> <p>前年度の一般会計や特別会計の決算を審査します。</p>
<p>常任委員会・議会運営委員会・特別委員会・全員協議会を随時開催</p>							

◆寄附行為等の禁止

議員は以下の行為は禁止されています。

- ・町内のお祭りのときなどにお金を寄附したり、お酒などを差し入れること
- ・町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物などを差し入れること
- ・選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと



【議会運営委員会】

- (1) 議会の運営に関すること
- (2) 議会の会議規則、委員会条例等に関すること
- (3) 議長の諮問に関することなどを審議します。

議会の円滑な運営を図るための委員会です。

【全員協議会】

議員相互の意思の疎通を図り、議会及び町政等の問題について協議を行ないます。



どないなつとん!? どないするん?

質問者	質問したテーマ	掲載ページ
首藤 佳隆	☞ 地方中枢拠点都市制度に参加するメリットは ☞ 空き家対策条例を作らないのか	P8
平田 孝義	☞ 認知症患者に対する「支える医療」、「見守り、支え」について ☞ 住宅リフォーム助成制度について	P9
森田 眞一	☞ 中央公民館を解体してあとどうするのか 公民館整備計画を問う ◎ 雨水排水対策で下流域の姫路市との協議は進んでいるか	P9
井川 芳昭	☞ 小中学校における通学路の防犯と安全対策について	P10
服部 千秋	☞ 町は放置されたままの空き家対策を行うべきでは ◎ 町が始めた本町元職員の再雇用の職務の実態と勤務態度は ◎ 子ども子育て会議の進捗状況は ◎ 教育委員会は自身で改革できる面はあると考えているか ◎ 本町小中学校では、グローバル化の進展に対応できる人材の育成の取り組み、郷土愛を育むための取り組み、道德教育をどう推進しているか ◎ 予算が限られた中、町は町民の協力を得ながら行政を進める必要があるが、そのあり方をどう考えているか	P10
井村 淳子	◎ ひとり親家庭への寡婦控除のみなし適用について ☞ 新しい仕組みで検診受診率のアップと健康寿命を延ばす取り組みを ☞ 小中学校で健康と命の大切さを学ぶがん教育を	P11
福井 輝昭	☞ 太田、龍田両小学校の児童数をどう考える	P11

☞ マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録をご覧ください。

問 空き家対策条例の制定は?

答 地域の実情に沿った条例を検討する



首藤 佳隆 議員

首藤 町内の空き家の実態数は。また、空き家対策条例を制定する時期に来ていていると考えるが。

経済建設部長 上

水道の使用状況等から判断し、戸建て住宅で約280戸の空き家を確認している。この夏に自治会を通じて実態調査を行い、現状把握と課題を抽出し、地域の実情に沿った条例制定の検討を進めていきたい。

デル事業に太子町が参加する経緯とメリットは。

総務部長 合併を前提とした制度でないこと、また参加が連携協約の締結を確約したものではないことを確認した上で、町単独で実施するよりも効果的と考えられる生活関連機能サービス等について、拠点都市と連携することにより住民福祉の向上に寄与できないかと考え、また普通交付税等による財政支援があることも勘案し参加を決定した。

首藤 中枢拠点都市制度に対する町長の思いは。

町長 隣接する姫路市の取り組み、特に圏域全体の生活関連機能サービスの向上等の施策を無視することはできない。今後いろいろと情報が分かれば、委員会等で説明する。



中枢拠点都市制度に参加するメリットは

首藤 姫路市が申請した地方中枢拠点都市制度



平田 孝義 議員

平田 徘徊者を発見する地域ぐるみの模範訓練についての考えは。
経済建設部長 徘徊者を発見するに

経済建設部長 太陽光発電・耐震改修・高齢者の住宅改造成等を基本として、環境・耐震化・バリアフリー化等総合的な住宅施策に取り組んでいきたい。



森田 眞一 議員

森田 平成28年度より先になるかも知れないが解体は変わりはしないということか。公民館



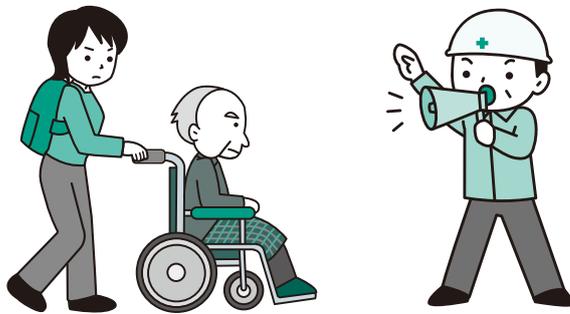
中央公民館

問 認知症患者に対する「支える医療」「避難対策」は

答 適切な緩和ケアシステム・避難対策支援に努める

平田 認知症患者に対する在宅の緩和ケア「支える医療」、徘徊による行方不明者・事故等、「見守り」「支え」行政が常に情報を共有する中、認知障害者に対する避難対策は。
経済建設部長 苦痛を早期に発見し、和らげることで生活の質を改善する取り組みが必要で、適切な緩和ケア患者の情報を共有し、切れ目のない医療と介護の連携を実施。避難対策については、避難行動要支援者の登録を行い、この情報を消防機関、自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会等、地域での避難誘導支援、その制度を高め機能するよう努める。

は大変有効な取り組みだと思ふ。近隣市町との情報共有が出来れば効果的な取り組みになるのではないか。
平田 大きな経済波及効果、地域活性化による経済対策、住宅リフォーム助成制度について問う。
住宅リフォーム助成は



問 中央公民館を解体したあとどうするのか

答 現庁舎跡地の利用も含めトータル的に考える

森田 中央公民館の解体を平成28年度に行うと実施計画に上げているが、なぜ解体するのか。解体後どうするのか。
また、今年度から地区公民館の耐震診断を予定しているが、これらを含めた公民館全体の整備計画を問う。
教育次長 中央公民館は築48年が経過し耐震診断の結果、耐震性が不足している。たとえ大規模な耐震工事を行っても経年劣化は進む。解体時期は財政状況も見ながら検討する。

公民館機能の補完的なものとして、新庁舎の地域交流センター内に研修室等を整備する。現庁舎の跡地等も含め公民館のあり方を検討したい。
副町長 中央公民館が不要という考えはない。社会教育施設を含め教育施設等全体のことを財政計画とらみながらトータル的に考えていく必要がある。
森田 中央公民館の解体は施設を貸すだけのものではない。地域の課題に取り組んだり、住民の学習活動を支援するもので、単なる建物であってはならない。ふるさと文化村との一体性はどうなるのか。社会教育審議会や公民館利用者等多くの意見を聞いたか。



問 太子東中学校通学路への防犯カメラの設置は

答 現段階では難しい



井川 芳昭 議員

井川 沼田地区から太子東中学校へ上っていく南側の坂道は昼間でも薄暗く、樹木や竹林が多くカーブになっていて、周囲からも死角になって

いる。通学路において大変危険な場所です、保護者から防犯灯や防犯カメラ等の設置が必要であるとの声があり、早急な対応が必要と考えるが。

教育次長 東中学校南側の沼田地区から上がる坂道は、樹木や竹林が道路を覆うような状況であれば、関係機関と連携し対応したいと考えている。

しかし、防犯カメラの設置は、設置箇所が学校敷地外であるため、監視、画像の録画とその利用については肖像権等のプライバシー保護の観点等から、現段階では難しい。

井川 全国的にも不審者等が通行人に危害を加える事件が多く発生してい

る中で、太子町においても小・中学校の連絡メール、ひょうご防犯ネットからのメール等で痴漢等の不審者情報が保護者に配信されているが、配信後の関係機関との連携と対応はどうなっているのか。

教育次長 配信後は警察や揖龍少年育成センターへの連絡、小・中学校間の連携を行い、緊急性や重大性を考慮し、教職員が巡回する等、情報の周知や子どもたちの安全確保に努めている。



太子東中学校 通学路の坂道

問 空き家対策の条例を制定すべきだ

答 時期に応じて制定したい



服部 千秋 議員

服部 空き家が全く管理されず放置された場合、生活環境や防犯等さまざまな問題を引き起こすことがある。町内を回ると空き家を多く目にする。

① 町内の空き家数を把握しているか。そのうち放置されたままの空き家の数は。

② 空き家対策の条例を制定すべきではないか。

③ 制定しない場合、所有者等の財産権と空き家周辺の環境保全をどう調整する考えか。

経済建設部長

① 約280戸。詳細な内容は把握していない。自治会を通じアンケート等で実態調査したい。

② 兵庫県は各市町で構成する協議会を設立、ガイドラインを作成。アンケート等で現状の把握と課題を抽出し、地域の実情に沿った条例制定の検討を進める。

③ 空き家は老朽化の進み

具合や、対応、深刻さも地域により違う。状況に合わせて条例の必要性や内容を判断していく。

服部 条例を制定しても限界はあるが、しないと国の空き家再生等推進事業等のメニューを町として利用できない。行政が権限を持つてやるためには条例が必要だ。

経済建設部長 今は条例がなく行政指導の形で、強制力はない。所有者が本当にわからなくなる状況もあるので、今後は人口減で空き家数は増えると考えられ、時期に応じて条例を制定したい。





井村 淳子 議員

*ピロリ菌ABCリスク検査とは、血液検査でピロリ菌感染の有無と胃粘膜の状態を確かめ、胃がんになりやすい状態かどうかを判断する検査。

問 胃がん検診に「胃がんリスク判定」の導入を

答 実施自治体を参考に検討する

井村 国は、ピロリ菌を胃がんの発がん因子と認めた。バリウムを飲むX線検査は受診しづらい方も多く、血液検査で胃がん発症の可能性が判定できるピロリ菌ABCリスク検査は実施しないのか。

生活福祉部長 胃がん患者の98%の方がピロリ菌に感染している。最近ではピロリ菌検査も保険診療の対象になった。近隣でも胃がん検診とは別にリスク判定を行うところもあるので参考にしながら検討したい。

井村 町の胃がん検診受診率は約22%と低い。胃がんの芽を摘む早期予防も重要である。

がん教育について



井村 子どもたちが健康と命の大切さを学び、みずからの健康を適切に管理し、がんやがん患者に対する正しい知識や認識を持つことを目標に、国のがん教育の方向性が示された。既に医師等専門家やがん経験者らを外部講師として招き、授業を行っている学校もあるが。

教育長 専門家を呼んでというよりも、教師が専門的知識を研修し子どもに理解させていく。

井村 拠点のがんセンター初め地元医師会とも連携して、学校現場で質の高い授業を何としても実現していただきたい。

問 太田小学校と龍田小学校の児童数についてどう思うか

答 大規模校、小規模校、各々に長所、短所がある



福井 輝昭 議員

②保護者には確認しながら学校運営を切れないが、中学校では、それを補っている。

福井 平成26年5月1日現在、小学校の児童数は斑鳩小445名、太田小1,083名、石海小645名、龍田小144名。太田小と龍田小の児童数の差は939名と7.5倍の差がある。両校の児童は東中学校に入学するが

①太田小と龍田小の児童数、またその差について。②両校の児童数を保護者はどう考えているか。

③児童数はまちづくりと大きく関わっており、地域のあるべき姿が問われているが。

教育長

①大規模校、小規模校、各々に長所・短所がある。龍田小のクラスの固定化はデメリットだが、意思疎通がしやすいメリットもある。同じ中学校への入学に問題はないとは言えないが、中学校では、それを補

していないが、少人数、大人数の現状について賛否があると思われる。③まちづくりは、児童数も重要な要素。必要に応じて検討していく。

福井 龍田地区の市街化調整区域の緩和が太田地区の急速な宅地化の緩和、ひいては児童数にも影響してくると考えるが。

副町長 龍田地区で市街化区域を増やすことは現状では無理と考える。



太田小学校



龍田小学校

あの目 あの時 あの質問

どうなった 一年前の

あの答弁

1年前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡!

石海南地区には避難場所がひとつしかない

JR陸橋を渡る不便さは、子どもだけでなく高齢者にとっても重要な課題だ。JR総合車両区を避難場所に指定できないか。

答弁

総合車両区に避難場所を確保するのは困難だ

災害時においては、公共交通機関として早期復旧を図ることが最優先となるので、避難場所を確保することは困難だ。

その後

26年1月、網干自動車教習場と支援協定を締結

これにより、石海南地区における避難場所不足を補うとともに、貸与される教習車両等を災害応急対策車として使用し、災害時における被害の軽減と地域住民の安全を確保できる。



農地バンク制度の更なる活用が重要では

太子町としては、農地バンク制度を今後どのように利用して、どのような計画、施策等を考えているのか。

答弁

制度の周知を推進、活用し、担い手の育成確保に

空き農地の所在や賃借料が一覧で確認でき、今後農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成確保に努める。

その後

農地バンクの活用状況は順調に増えている

25年度の実績は17件の貸し付けが成立。その他にも25年7月には各地区公民館での農業・農地相談会の実施、8月からは「ふれあい農業塾」のスタート等、農業振興に努めている。



事故防止の注意喚起塗装の今後の対応は

車道と路側帯をはっきり色分けし、歩行者や自転車との走行区分を明確化する等、危険箇所への今後の事故防止対策は。

答弁

カラー区画線を含め、効果的な安全対策を行う

24年度は斑鳩小西側と長金陸橋に緑色カラー区画線を設置した。その効果検証を行い、通学路緊急総点検結果をもとに対応する。

その後

25年度は7カ所の区画線外補修を実施

優先順位を考慮しながら、25年9月以降、東出ヶ丘・太子苑・老原・東出・中出・矢田部・馬場の7地区で、交差点マーク設置や白線の引き直し・グリーン線設置等の対策を施した。



組合議会に

議員を派遣

揖龍保健衛生 施設事務組合議会

ごみ処理（揖龍クリーンセンター）、し尿処理（揖龍衛生処理場）、休日

夜間急病医療（揖龍休日夜間急病センター）、火葬場（筑紫の丘斎場）の

4箇所の施設の運営を人口約3万5千人の太子町と人口約8万人のたつの

市と合同で行っている事務組合である。事務組合議会の構成は、議員定数が10名で、太子町からは

3名、たつの市からは7名で、事務組合の18億1,900万円の予算や人事等の上程案件を議決している。

平成26年5月29日に第2回臨時議会が開催され、今年度の組合議長の選挙、副議長の選挙、監査委員選任の同意が行われた。

業を審議している。

《本町からの組合議員》

副議長 井川 芳昭

議員 中井 政喜

議員 平田 孝義

揖龍地区農業 共済事務組合議会

たつの市と太子町で構成。議員10名（太子町から3名）。

国の農業災害補償法に基づき、「農業者が不慮の事故に因って受けることのある損失を補てんして、農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資すること」を目的に、

農作物共済（水稲・麦を対象）、家畜共済（乳牛・肥育牛・肉用牛を対象）、

畑作物共済（大豆を対象）、園芸施設共済（ハウスを対象）の各事業を行っており、その事務事業を審議している。

業を審議している。

事故（発生）に対する共済金の支払は、組合・連合会・国の間で支払い責任を分担して支払っている。

事故がない場合にも、損害防止活動助成、無事戻し金による還金を行っている。

《本町からの組合議員》

副議長 清原 良典

議員 吉田 日出夫

議員 堀 卓史

西はりま消防 組合議会

平成25年4月から相生市・たつの市・宍粟市・太子町・佐用町で構成される広域消防として、西

はりま消防組合（火災・救急・救助事案対応、消防用設備・危険物施設等の適正運用の指導、住民向け防火及び防災の広報活動を行う）が設立された。その組合の事務事業を審議する組合議会（各市町より2名）として発

足したものである。平成26年6月23日に第3回臨時議会が開催され、今年度の組合議長の選挙、副議長の選挙、監査委員の同意が行われた。また議案として、24時間365日運用体制の新消防指令センターを設置するため、消防本部3階の改修工事を行う工事請負契約を議決した。その他工事請負契約1件、財産の取得2件、条例改正1件を議決した。

《本町からの組合議員》

議員 佐野 芳彦

議員 中藪 清志



西はりま消防本部内（たつの市揖保川総合支所）

請願第7号は 全員賛成で 採択

福祉文教常任委員会に付託された請願第7号は、全員賛成で採択、又、提案された意見書案第2号も全員賛成で可決した。

件名 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について

国への意見書

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出した。

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。

人権擁護委員の
推せん

下記の者を人権擁護委員に推せんすることを全員賛成で決定した。
（任期平成26年10月1日から平成29年9月30日）

大西 正美 氏

住民の参画と協働・情報公開の具体的なあり方について

総務常任委員会

5月12日

調査課題を昨年度に引き続き「住民の参画と協働・情報公開の具体的なあり方について」に決定した。

6月9日

課題調査

他の自治体への視察を行い検討・調査する予定である。

付託案件審査

2件の付託案件の審査を行った。

太子町税条例等の一部を改正する条例の制定について

上位法の改正に伴い、本町の条例を改正するもの。

主な質疑・答弁

問 軽自動車の税率引き上げは国からの通達によるものであるが、太子町

として断ることが出来ないのか。

答 断ることは出来ない。

問 法人税割の税率引き下げ率2.6%に核当する金額

はどの程度か。この引き下げにより、福祉、その他財源に影響はないのか。

答 平成25年度決算見込みで約2,600万円の減付税で補てんされ、実質25%の650万円程度が影響額となる。当然一般財源が減るため福祉等に少なからず影響はある。

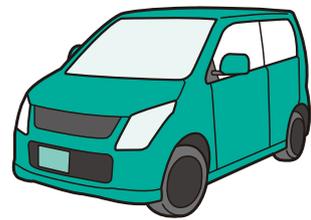
太子町固定資産税の不均一課税に関する条例を廃止する条例の制定について

問 条例を廃止することにより国・県の補助金等

どれくらい減額になるのか。

答 税制面での軽減をはかり大企業が太子町に参入しやすくなるようにこの条例を制定していたが、国が町の軽減分に対する財源援助をしないことになったため廃止するもの。今まで太子町は該当事例はなかったため影響はない。

2議案とも可決すべきものとし本会議にて報告を行った。(本会議でも可決。)



小中学校のICT教育環境の現状と課題を探る!

福祉文教常任委員会

5月14日

26年度の課題調査は「小中学校のICT教育について」とし、町内の現状や近隣市町・類似団体の現状等を調査していくことにした。

6月10日

所管事務調査

子ども・子育て支援事業計画について

問 認定こども園について保育園・幼稚園の意向は確認しているか。

答 保育所への意向調査はしているが、スケジュールは9月を目途に大まかに取りまとめた。その中で一時保育や延長保育等を来年度から実施するとしたら10月の募集要項に盛り込む必要がある。

幼稚園への意向調査はしていないが、子ども・子育て会議で協議しているところで、まだ決まらないうちで意向が先行するのはどうかと考える。幼稚園教育のあり方、特に3歳児も含めて協議しながら判断していきたい。

問 当委員会では学童保育を小学6年生まで拡大することを提言しているが。

答 26年度5月末現在で286名の学童を受け入れているが施設は満杯の現状であり、小学6年生までの受け入れについては議論しているが今のところ具体的なことはない。

請願審査

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について

少人数学級の推進は、子どもの学力面だけではなく、学校運営、また先生方の負担面からも進めていくことが必要。義務教育費の国庫負担についても、誰もが安心して教育が受けられるようにすべきであることから、全員賛成で採択とした。

課題調査

小・中学校のICT教育について

町内の小・中学校におけるICT機器の状況は、デスクトップのパソコンを平成19年・20年度にかけてリースにより整備し、小学校で計160台。中学校は学校ICT環境整備事業での購入で、計84台、小・中学校全体で244台のパソコンを稼働させている。次にICT関連機器として電子黒板を小学校計4台、書画カメラを小学校に46台、中学校3台、合計49台設置しており、その活用はパソコン用の教室においてエクセル・ワード等授業に活用している状況である。書画カメラは各教室で主に小学校の体育以外の授業で利用しているという説明を受け、その後質疑応答を行った。

主な質疑・答弁

問 パソコン等設置状況で、学校間に格差はないか。

答 ICT教育に関して は教材が先行するのではなく、教員が有効に利用して子どもたちの教育に理解を深めるといふ視点も非常に大事であり、物を整備したから授業がうまくいくかというものでもないで、一概に数が多い少ないで、格差があるとは思っていない。

問 教員のICT研修状況については。

答 昨年度はタブレットを利用した授業モデルを各学校に1名配置している情報担当教員、あるいは校長、教頭を対象に開催した。また、県において毎年ICTを活用した指導力の向上、情報モラルの充実を趣旨とする情報教育研修会を実施しており、学校の情報担当教員が参加している。

6月25日

姫路市立南大津小学校 4年生の授業を視察し、姫路のICT教育の実態調査を行った。



姫路市立南大津小学校視察

6月11日・16日

課題調査

太子前処理場の将来像

年度が替わり新しいメンバーになったので、太子前処理場の視察を行ない生汚泥搬送計画の進捗状況を確認した。

- ① 兵庫西流域汚泥処理場
- ② 兵庫西流域汚泥処理施設福井ポンプ場
- ③ 姫路市福井前処理場
- ④ 兵庫県揖保川浄化センター
- ⑤ 兵庫県揖保川浄化センター

所で県が検討していると説明を受けた。

主な質疑・答弁

問 生汚泥搬送工事の予定は。

答 太子前処理場の重油タンクの更新時期が平成28年11月であるため、来年度工事に着手し平成28年9月頃の完成予定で検討していきたい。

問 老朽化による建て替え等の対応が必要な状況を、県も認識しているのか。

答 視察もされ現状は認識されている。その上で兵庫西流域下水汚泥処理事業推進協議会・幹事会で生汚泥搬送計画を提案するように助言を受けて現在協議中である。



太子町処理場視察

4月から新庁舎建設が始まる!

新庁舎建設調査特別委員会

4月25日

4月10日実施の起工式のDVD映像を鑑賞した後、5月開催予定の「まちづくりの集い」で配付される資料をもとに、工事進捗状況並びに今後のスケジュールについて説明を受けた

主な質疑・答弁

問 工事中のチェック体制は。

答 現場事務所にて工事管理事務所と町の開設準備事務所等を設け、現場管理者のチェック後に行政側の建築士・土木技術者による再チェックという二重チェック方式とする。

問 地元業者の関わりは。

答 個々の下請け業者の決定は請負業者に決定権があるが、地元業者の育成・地域振興の観点から

6月27日

地元業者を活用して欲しいというところは既に請負業者に申し入れている。



新庁舎視察

主な質疑・答弁

問 下請を探す困難さはどういう状況であるか

答 当現場においては型枠大工、鉄筋工、鉄骨については人員は確保した。

太子前処理場経費削減の鍵を握る生汚泥搬送計画の行方は継続して調査

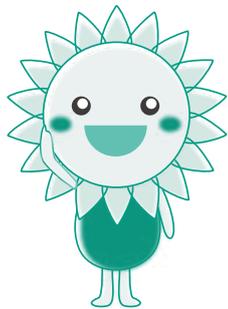
5月13日

課題調査

調査課題を昨年度に引

経済建設委員会

き続き「太子前処理場の将来像について」決定し、スケジュールの確認を行った。



Boys & Girls Taishi

をいだけ! まっすくな眼差しと学校への想い...
自分らしさがキラリ!



Q. 生徒会をやるときつかけは?
A. (石) 以前、風紀が乱れていた時に、静かにしていたい人たちの個性を尊重したいと思ったのがきっかけです。
Q. 先生に勧められました最初は副会長は大変だという印象でしたが周りの皆がサポートしてくれたのでやりきりました。
A. (白) 勉強ができ、安全に登校できるのも地域の方が見守ってくれているから。それを迷惑をかけるのではなく、感謝の気持ちで返したいんです。
Q. あいさつ運動をしているけれど、変化はあった?
A. 昨年度より、大きな声であいさつしてくれる人がだんだん増えてきました。また、前は自分からあいさつする人は少なかったけど、今はみんなが言うようになるようになりました。

Q. 太子西中学校の良いところ、好きなところ
A. (石) 学年、性別問わず仲が良く特にクラス対抗行事などに団結力がスゴイ。
Q. 太子町は好きですか?
A. 地域の人々が本当に優しく、私たちを見守って声をかけてくれるので大好きです。
遠い将来ですが、子どもができたら太子西中学校に通わせたいです。



太子西中学校 生徒会
会長 3年 石原 綾乃さん
副会長 3年 田島 勝志さん
副会長 3年 白井 真未さん
☎️お話を聞きました。

議会傍聴にお越しく下さい!



9月定例会予定

- ・9月1日(月) (第1日/提案説明)
- ・9月2日(火) (第2日/一般質問)
- ・9月3日(水) (予備日/一般質問)
- ・9月4日(木) (第3日/議案質疑)
- ・9月22日(月) (第4日/討論・採決)

◆お知らせ

9月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局にお問い合わせ下さい。

あなたの「声」をお聴かせください



議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

◆編集
広報広聴常任委員会
委員長 福井 輝昭
副委員長 中数 清志
委員 服部 千秋
委員 平田 孝義
首藤 佳隆

◆編集後記
子どもらは海だ、プールだと大忙し。でも受験生はじつとガマンの夏休み。老若男女、各々の夏が過ぎ行きます。無理せずホチホチと。表紙の七夕、私の子どもの頃、家では8月7日に行っていました。いつまでも残したい行事です。
委員長は新前、そこは、副委員長、各委員また事務局が要を得て、新メンバーによる初の議会だより発行となりました。(福井記)